

平成三十年学力検査

全日制課程 B

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐ受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(9)ページまであります。(9)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えは全て解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号

第

番

国語

一次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

③ ① ② ①

著作権に配慮して掲載を控えています

④

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して  
掲載を控えています

(かりやたけこ)  
『荻谷剛彦』『知的複眼思考法』による)

(注) ○ ①⑥は段落符号である。

(一) 「A」から「C」までのそれぞれにあてはまる最も適当なことを、次のアからクまでのの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア そのうえ                   イ それとも                   ウ しかし                   エ すると  
オ たしかに                   カ ところで                   キ せめて                   ク つまり

(二) ① こうした常識の内容として最も適当なものを、次のアからオまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 若者たちの活字に向かう時間が短くなっても、失われるものは多くないと考えること

イ 若者たちが本を読まなくなって、何か大切なものが失われたと考えること

ウ 本でなければ得られないものは、現在の社会ではそれほど多くないと考えること

エ 本をたくさん読むことで、物事を深く考える力が身につけられると考えること

オ ささまざまなメディアの発達により、活字メディアの優位性が徐々に失われたと考えること

(三) 筆者は第三段落で、紙に書かれた活字メディアの長所について述べている。それを要約して、七十字以上八十字以下で書きなさい。ただし、「格闘」、「ペース」、「複眼思考」という三つのことばを全て使って、「活字メディアは、……」という書き出しで書くこと。三つのことばはどのような順序で使ってもよろしい。

(注意) ・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。

・文は、一文でも、二文以上でもよい。

・次のページの枠を、下書きに使ってもよい。

(四) ② 著者と対等な関係に立つことが大切であると筆者が考える理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 著者と対等な関係に立つことで、文章を書いているときの著者の迷いや選択を主体的に分析できるようになり、自分が試行錯誤して文章を書き上げる際に役立つから。

イ 著者と対等な関係に立つことで、著者の言い分を客観的にとらえて受け入れられるようになり、書物を通して効率的に知識や情報を獲得することができるから。

ウ 著者と対等な関係に立つことで、著者に対する好き嫌いの感情を乗り越えられるようになり、試行錯誤の末に書き上げられた本の内容をより深く理解できるから。

エ 著者と対等な関係に立つことで、文章を書く過程に含まれる著者の迷いや選択を意識できるようになり、書かれたものを漫然と読むのではなく考えながら読む習慣が身につくから。

(五) この文章の論の進め方の特徴として適当なものを、次のアからエまでの中から二つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 一般によくなされる指摘の前提にある考え方を取り出し、客観的なデータを示しながら、その考え方の誤りを明らかにしている。

イ はじめに明確な結論を述べ、その後具体的な例を複数挙げて結論の正しさを示し、説得力をもたせている。

ウ 問いを立ててそれに対する答えを述べ、さらに問いを立てて答えながら、わかりやすく自分の考えを伝えている。

エ 対立する二つの意見を紹介し、それぞれがもつ欠点を明らかにし、たうえで、いずれとも異なる独自の意見を主張している。

オ 常識とされている考え方に対して疑問を投げかけ、その分析を糸口として、自分の主張を展開している。

カ 事例によって問題を提起したあとで自分の主張を述べ、さらに想定される反論に対する考えを述べて、説得力を増している。

※ 左の枠は、(三)の下書きに使ってもよい。ただし、解答は必ず解答用紙に書くこと。

							活
							字
							メ
							デ
							イ
							ア
							は
							,

80 70

二 一次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

- (一) 次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。
- ① 二勝二敗で迎えた団体戦の勝敗は、最後の選手に委ねられた。
- ② 先日、宇宙飛行士が自らの体験を語るコウエン会が催された。
- (二) 次の③の文中の傍線部と同じ漢字を用いるものを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。
- ③ 彼の作った銅像にはジュウコウ感がある。
- ア 祖父の家には、古いコウテツ製の金庫がある。
- イ 世界中が、彼の平和へのコウセキをたたえた。
- ウ 学校の前の道路は、コウツウリヨウが多い。
- エ 保育所は、コウセイ労働省が管轄している。

三 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

① 2

1

著作権に配慮して掲載を控えています

4

3

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

(注)

- ○ [1] [7] は段落符号である。
- ターニングポイント⇨転換点、分岐点。

(上柿崇英『うえがきたかひで「環境を守る」とはどういうことか——環境思想入門』による)

① (一) ひとつの思考実験をしてみよう とあるが、この思考実験によって

筆者が言いたいこととして最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 環境破壊について論じる際には、生物が生存するために不可欠な条件は何であるかを明確にしておくことが大切である。

イ 環境破壊について論じる際には、それぞれの生物にとってどのような物質が有害であるかを踏まえることが大切である。

ウ 環境について考える際には、問題としている環境がどの生物にとっての環境なのかをはっきりさせることが大切である。

エ 環境について考える際には、未来の生命体にどのような影響が及ぶ可能性があるかを視野に入れておくことが大切である。

(二) 生物にとっての環境が、生物の存在のあり方を規定するうえでき

わめて重要である と言えるのはなぜか。その理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア それぞれの生物がもつ性質や能力は、環境破壊による固有の環境の変化にもうまく適応して、変わっていくものであるから。

イ 生物の個体もつ本来の性質や能力は、その生物種にとっての固有の環境があつて、初めて発揮されるものであるから。

ウ ある生物種にとっての固有の環境は、他の生物種との争いを避け、互いに共存していくうえで不可欠なものであるから。

エ 人間にとっての固有の環境は、他の生物種にとっての固有の環境とは異なり、人間自身の手で作り上げたものであるから。

(三) ③ 人間にとっての環境の特徴 とあるが、その説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 生存に必要な自然環境と社会制度を支える社会環境の二重の環境があり、地域ごとの自然環境の違いによって人間の姿は大きく異なる。

イ 人間が作り上げた人工生態系からなる社会環境と人間を除く生態系からなる自然環境の二重の環境があり、前者が後者を規定している。

ウ 二重の環境をなす自然環境と社会環境のそれぞれに物質的な部分と非物質的な部分があり、非物質的な部分が人間の生存の基盤である。

エ 自然環境と社会環境の二重の環境があり、社会環境の物質的な部分と非物質的な部分の双方が人間が人間であるために重要な意味をもつ。

(四) 波線部アからエまでの「ない」の中に、意味や働きのうえで、一つだけ他の三つのいずれとも異なるものがある。それを選んで、そのかな符号を書きなさい。

(五) 第六段落と第七段落についての説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 第六段落では、自然環境に対して社会環境が膨張・複雑化してきた歴史的な変遷過程を説明し、それをうけて第七段落では、環境問題を考える際に必要な考え方についてまとめている。

イ 第六段落では、社会環境が自然環境から独立して自然環境を破壊してきた過程を説明し、それをうけて第七段落では、自然環境を保護するために必要な考え方についてまとめている。

ウ 第六段落では、自然環境の変化が社会環境にもたらす影響を説明し、それをうけて第七段落では、環境危機を回避するために自然環境の変化を最小限にとどめる方法についてまとめている。

エ 第六段落では、自然環境が社会環境に対して果たしてきた役割を説明し、それをうけて第七段落では、社会環境の持続不可能性の問題に向き合っていく方法についてまとめている。



(六)

次の文章は、ある生徒が本文を読んで感想をまとめたものであるが、文の順序を入れ替えてある。筋道が通る文章とするためにアからオまでを並べ替えるとき、二番目と四番目にくるものをそれぞれ選び、そのかな符号を書きなさい。

ア この意味をよく考えてみると、人間にとつての環境には、社会の中での人間関係なども含まれるように思います。

イ これまでに私は、持続可能な社会の実現に向けて、「地球環境を守るためには何ができるだろうか」と考えることはあつたのですが、環境を自分とまわりの状況との関係として捉える意識はありませんでした。

ウ そこには「人間または生物を取り巻く、まわりの状況」とあり、環境とは、人間や生物という中心がまずあつて、その中心とまわりの状況との関係を表すことばであることが分かりました。

エ でも、これから環境問題を考えるときは、社会の中での人間関係と同じように、自然環境やそれを基に人間が作り出した社会環境とどのような関係を築いていくのかという視点を忘れないようにしたいと思います。

オ 私は、この文章を読んで、「環境」ということばの意味を改めて確認したいと思い、手元の国語辞典で調べてみました。

四 次の古文を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。(本文の……の左側は現代語訳です。)

分別かんぶつ無くて分別べんべつ面する人こそいとにくけれ。其その分別面する人は常に

全く気に入らない

ふた

物をもいはず、いかにも神妙しんぼうに構へ、公事沙汰くじしあの場にては、分別べんべつのよき

しつかりして  
いる様子  
公の評議

人の一番に理究りきゅうをいふてのきたるあとに、頭を傾け、事ありげに作り声

筋の通った論理を言つて  
退いた

して存分うをいひ、定めて違ひたる理の有るこそするらめと思へば、さ①は

思うところ

きつと

あるに違ひない

では

なくて始めの理にわけもなき枝葉しやうをつけてながながといひ、常に物をも

いはず公事沙汰の場にては、いらざる事をもながながといふを分別者と

エ

心得こころえると見えたり。さにはあらず、そさうにもあれ、閑しづかにもあれ、理筋

そそつかしいふる  
まいであれ

落ち着いた態度で  
あれ

を違へずいふをこそ、分別者といふべけれ。かやうに無分別にて分別面

する者を、主たる人見誤りて後見うしろみをさすれば、万事物が左前さぜんになりて、

補佐役

物が順調じゆんてうにいかなく  
なつて

下々まで風俗ふうぞく悪しくなるものなり。

生活上の習慣

(『身の鏡』による)

(一) 波線部アからエまでの中から、主語が他と異なるものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

(二) さ①はなくて の内容として最も適当なものを、次のアからエまでの

中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 別の道理を示すのではなくて

イ 発言するときの態度が落ち着かなくて

ウ 公の評議の場で長々と発言するのではなくて

エ 自分の意見に全く自信がもてなくて

(三) 筆者は、どのような人物を分別者と呼ぶことができるかと考えているか。その条件にあたることばを、古文の中からそのまま抜き出して、八字で書きなさい。

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 公の場でわざと分別のないふりをして人には、信用が置けない。

イ どんときも落ち着いている人は、筋道の通った考えをもっている。

ウ 主人が下の者から助けられてばかりいては、世の中が良くなるらない。

エ 見誤つて無分別な者を補佐役にすると、物が順調にいかなくなる。

オ 筋道の通った考え方ができる学者に任せておけば、万事もうまくいく。

(問題はこれで終わりです。)

一	(一)	A (        ) B (        ) C (        )		80 70	※一
	(二)				
	(三)	活	字		
		メ	テ		
		イ	ア		
		は	、		
	(四)				
	(五)	(        ) (        )			
				1点×3 2点×2	□
二	(一)	①	ねられた	②	※二
	(二)	③			1点×3
					□
三	(一)			(二)	※三
	(三)			(四)	
	(五)				
	(六)	二番目 (        ) 四番目 (        )			
					1点×4 2点×2
					□
四	(一)			(二)	※四
	(三)				
	(四)				
					1点×4
					□

受検番号	第	番	得点	※
------	---	---	----	---

(注) ※印欄には何も書かないこと。

第1時限 国語正答 全日制課程 B

四	(四)	工
	(三)	理筋を違へずいふ
	(一)	イ
	(二)	ア

三	(六)	二番目(ウ) 四番目(イ)	
	(五)	ア	
	(三)	エ	
	(一)	ウ	
	(四)		ア
	(二)		イ

二	(二)	③	工
	(一)	①	ゆだ(ねられた)
		②	講演

一	(四)																					
		と	な	る	。	レ	一	二	ン	グ	の	場										
		を	身	に	つ	け	る		う	え	で	格										
		く	れ	る	の	で	、		複	眼	思	考										
		格	闘	す	る	時	間		を	与	え	て										
		が	で	き	、	情	報		や	知	識	と										
		手	の	ペ	ー	ス	で		読	む	こ	と										
		活	字	メ	デ	イ	ア		は	、	受	け										
		(二)		イ																		
		(一)	A(オ) B(イ) C(ウ)																			
		(三)																				
	(五)																					
		(ウ)(オ)																				